

# 心の居場所に ひとりひとりに寄り添う 教育支援センター

問 教育支援センター ☎76-8179

ID 1461



## 「学校に登校したくても登校できない」

学校を年間30日以上欠席する子どもたちは全国的に増えています。文部科学省の調査\*では、小・中学校の不登校児童生徒数が約29万9千人、そのうち学校内外で相談・指導などを受けていない児童生徒数が約11万4千人に上り、過去最多となりました。

要因や背景は人それぞれで、誰にでも突然起こりうるものです。

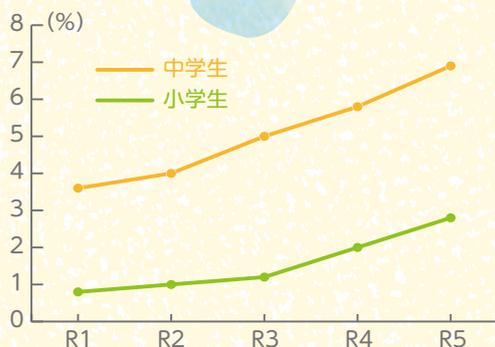
本市でも、さまざまな理由により支援を必要とする子どもたちが増えています。また、子どもたちに関わる大人のかたの相談も増えています。

皆さんの心の居場所になれるよう、ひとりひとりに寄り添う「教育支援センター」を、児童生徒に関する相談・支援機関の拠点として、今年度開設しました。

今回は教育支援ルーム「つくしんぼ」と教育相談「ひまわり」からなる「教育支援センター」を紹介します。

\*「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」(令和5年10月)

本市の不登校児童生徒の割合



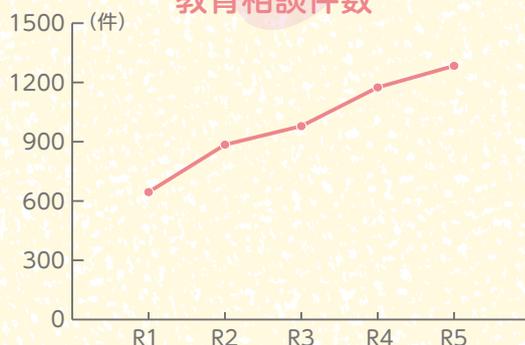
※不登校による年間30日以上欠席者数

令和5年度

小学生 約35人に1人 中学生 約14人に1人

小・中学生ともに、年々増加しています。長期休業明けに、増えることが多いです。学校ではない居場所を見つける子どもも多くなってきました。

「ひまわり\*」での  
教育相談件数



\*教育支援センター開設前から設置

### 主な相談内容

不登校、発達障がい、子育て、人間関係、いじめ、学力、情緒不安 など

相談件数は年々増加しています。相談内容もさまざまです。

市内に住んでいる・通っている小中学生なら誰でも！

# 尾張旭市教育支援センター

対象者

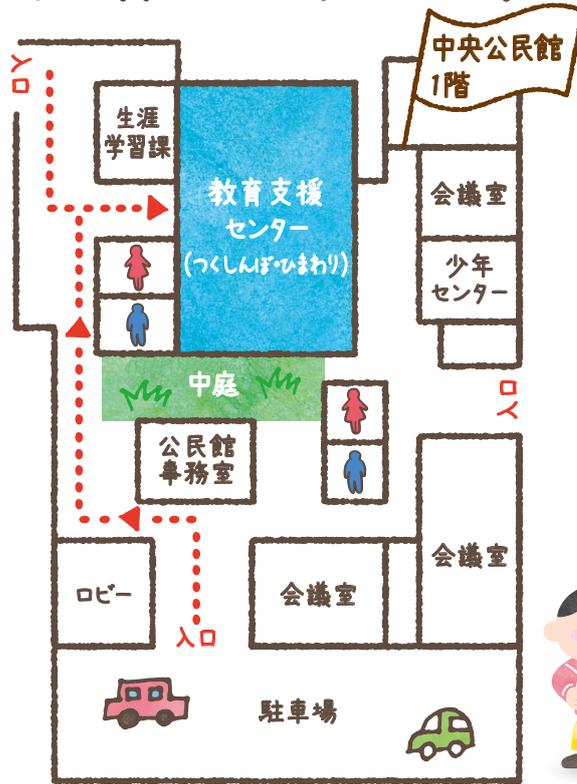
市内在住・在学の小中学生、  
その保護者と教職員

開設場所

中央公民館 1階

開設時間

平日8:30~16:45



## 教育支援ルーム

こんなところ

### 「つくしんぼ」

☎76-8180

- 不登校など支援の必要な子どもたちの社会的自立を目指します。
- 多様性を受け入れ、それぞれの子どもたちに合った指導・支援をします。
- 保護者や学校、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなどと連携して支援をします。
- いつでも温かく迎える体制を整えています。

7人の支援員が交代で指導・支援をします



## 教育相談

こんなところ

### 「ひまわり」

☎76-8179

- 心理・教育・子育ての専門カウンセラーによる相談(面談)
- 毎月15~20回の相談日を開設しています。
- 学校に関する心配事から、子育てや親子関係などの家庭生活の悩みなど相談を受け付けています。
- 教育相談担当者による相談(常時、電話・面談)



# ある日のつくしんぼ

1日の過ごしかたは、自分で決め、無理なく取り組むことができます。



## SCHEDULE

9:00 ~ 9:30

おはようタイム (1日の計画を立てます)

9:30 ~ 10:15

学習・読書・パズルなど

いろいろな本を  
読めるところが好き



10:15 ~ 10:30

休憩

みんなで遊ぶ  
ことが好き

10:30 ~ 11:15

折り紙、お絵描き、室内ゲームなど



11:15 ~ 11:45

おはなしタイム

みんなと  
話せて楽しい

12:00 ~ 13:00

ランチタイム

13:00 ~ 14:45

フレンドタイム

フレンドタイムでは、スポーツ・  
作品づくり・音楽などを、  
日替わりで予定しています。

14:45 ~ 15:00

さよならタイム (1日のまとめを日誌に書きます)



## ひとりひとりの個性を大切に、少しでもサポートできたら

担当するとき、「楽しい」を一番に、参加する子どもに応じて、ドイツ語の歌や日本唱歌、リトミック、音楽鑑賞など、子どもたちの個性と向き合うことを大切にしています。

ドイツでは「得意・苦手なことは人それぞれあるから、みんなで協力し合えばいい」と、子どもも大人も自分の個性に自信を持って過ごしていると感じました。みんな同じようにできないといけないと考える必要はなく、子どもたちの特別な個性を尊重していきたいと思っています。

私は、ピアノで挫折しかけた時、周りに居場所となる場所があり、救われた経験があります。そんな居場所のような存在に少しでもなれたら嬉しいし、子どもたちには、音楽でなくてもやりたいことを見つけたとき、学校の他にも努力できる環境があること、サポートできたらと思う大人がいることを知ってほしいです。全力で力になればと思います。



フレンドタイム外部講師  
ピアニスト

岡 里歌子さん

ドイツでの演奏活動などを経て、帰国後、県内高校の非常勤講師のほか、演奏活動、ピアノ教室、尾張旭家族でクラシック実行委員会などの市民活動で、積極的に活躍中

## 支援員の声

### 子どもたちに合った学びを 自己肯定感を上げて社会へ



「つくしんぼ」では、学校に登校することができない、登校したくてもできない子どもたちの「心の居場所」を目指しています。子どもたちが、一歩踏み出してここに来て、自分で決めたことを自分のペースで進めることで達成感を得て、社会的自立ができるように支援していきます。

子どもたちは自分に合った目標を立て、その目標に向けて自分のペースで無理のないように進めていきます。また、毎日、記録を残して、より多くの目で子どもたちの様子を共有し、気がかりな点を見つけて対策を考え、支援方法の工夫や環境改善についても随時検討しています。

そして、この場所は、保護者のかたにとっても安心できる場所でありたいと思っています。一緒に子どもたちを見守っていきましょう。



「つくしんぼ」  
浅野 教育支援員

### ひとりで抱え込まず 相談してみませんか



子育てや親子関係、子どもの不登校などで悩んでいる保護者のかたや、人間関係など学校生活に不安を抱える子どもたちが「ひまわり」で相談しています。

忙しい毎日の中でひとりで悩んでいると、心配事や不安だけが大きくなり、「暗いトンネルの中において、出口が見えない」と思うかもしれません。

「ひまわり」では、さまざまな悩みに寄り添ってお話をお聴きし、より良い方法を考え、光の見える方へ一緒に歩いていきます。

誰かに聴いてもらうことで悩みが軽くなり、不安が薄れていくはずですが、こんなささいなことでもいいのかと心配せず、ぜひお話を聴かせてください。

だんだん元気を取り戻していける場所、それが「ひまわり」です。



「ひまわり」  
谷口 教育支援員

子どもの気持ちを  
尊重していただけるので、  
表情が豊かになりました。

### 保護者の声

親身になって話を聞いてくださり、  
相談してよかったです。

家以外の居場所ができ、  
友達も増えて、自信ができました。

体を動かす時間もあるので気分転換にちょうど  
いいと思います。

先生がたが優しく寄り添って  
くれて安心です。

家から出ることに  
少しずつ抵抗がなくな  
ってきたと思います。

子どもが安心して通える場所  
の選択肢が増えました。

自分のペースで毎日  
楽しく通えています。



### 相談・入室の申し込み ID 1461



ひまわり

直接電話で申し込む or 学校を通じて申し込む

相談へ



つくしんぼ

児童生徒・保護者からの相談を受け付け  
（「ひまわり」や学校からの紹介も含む）

「つくしんぼ」  
教育支援員と面談

入室へ